

巨大トラック、近くドイツでも走行許可

掲載日	2010年5月3日
国名	ドイツ
分類番号	新技術・新工法
出典	Welt 紙 HP ニュース
タイトル	Riesen-Laster rollen bald auch in Deutschland

「ギガ・ライナー」あるいは「モンスター・トラック」と呼ばれる長さ 25 メートルのトラックは、2011 年からドイツの道路で試験運行が行われることとなった。2 年前に ADAC (ドイツ自動車連盟) などの反対を押し切って試験走行を終えた後、連邦交通省は新たなスタートを切ることに決めた。来年 1 月にも、一年間に限定して巨大トラック 100~150 台を投入した試験運行が開始される。特にトラックメーカーと大手運送業者がこの長いトラックの導入を支持している。新型トラックの導入は幹線道路およびアウトバーンに限定されるであろう。メーカーは牽引車と被牽引車の製造受注を期待している。運送会社は、車体長 25 メートルのトラックを使用すれば、貨物を約 20% 多く運べるので、効率が上がると考えている。問題のトラックは従来許可されていたサイズよりも約 6 メートル車体が長く、重量は現行の 40 トンから 60 トンに増える。しかし、道路や橋梁の損傷を避けるため、44 トンに減量される見込みである。しかし、運送業者にとっては、最大重量での走行は稀であり、トラック 1 台当たりの積載重量の増よりも積載容量の増の方が輸送効率に与える影響は大きく、大きなメリットとなる。

連邦交通省のスポークスマンによれば、車体の長い貨物車は『容積の大きい貨物』の運送に適しており、走行距離を節減できる。また、目下、研究チームがドイツ全土での試験運行計画案を作成中であるが、車体の長い車両は、ランクの低い道路や都市部の走行には適さないので、連携を確立させる必要があるとのことである。一方、鉄道輸送振興団体等は環境問題、安全性の問題などから激しく反対している。